

2020 年度 北大入試実戦模試志望動向<前期>

2020/11/26

- 志望者数は、全体では指数 103 のやや増加。文理別では、文系は指数 103 のやや増加、理系は指数 102 と前年度並。
- 文は、指数 111 と増加し、平均偏差値も 0.5 ポイントアップで、難化傾向。2015 年度入試から前年度の反動による増減が継続しており、その傾向どおりだと 2021 年度入試は増加の年度。
- 法は、指数 106 とやや増加だが、平均偏差値は 1.1 ポイントダウン。2020 年度入試の大幅減少の反動に注意。
- 経済は、指数 104 とやや増加、平均偏差値も 1.7 ポイントアップのため、注意が必要。
- 教育は、2020 年度入試の大幅減少の反動から、指数 108 と増加。しかし、平均偏差値は 0.2 ポイントアップに留まり、過度に不安になる必要はない。
- 総合入試文系は、2020 年度入試の大幅増加の反動から、指数 92 の減少。平均偏差値は 0.4 ポイントアップ。
- 総合入試理系は、指数 105 とやや増加。重点選抜群別では、(総合科学)が指数 116 と大幅増加。一方で、(数学重点)は指数 88 と減少とこの 2 つが目立っている。
- 医(医)は、指数 101 と前年度並だが、平均偏差値は 0.5 ポイントダウンしており、やや易化傾向。
- 医(保健)は、指数 102 と前年度並。専攻別では、(保健/放射線技術)が指数 89 の減少だが、(保健/理学療法)、(保健/作業療法)が指数 133 の大幅増加。平均偏差値は(保健/理学療法)が 3.1 ポイントアップで、志望者数の増加も加わり難化傾向。一方で、(保健/放射線技術)は 1.6 ポイントダウンで、志望者数の減少も加わり、易化傾向。
- 歯は、後期日程を廃止し、募集人員が 8 人(+38%)増加。前年度模試での大幅増加に続いて、指数 106 のやや増加だが競争は大幅緩和。平均偏差値も 1.7 ポイントダウンで、はっきりと易化傾向。
- 水産は、全国的な系統の人気低下が見られ、指数 90 と減少。しかし、平均偏差値は 2.0 ポイントアップで要注意。
- 獣医は、指数 84 と大幅減少で、2020 年度入試で大幅減少した反動はみられない。平均偏差値も 0.7 ポイントダウンで、易化傾向。

2020年度 北大入試実戦模試 志望状況<前期>

大学	文理	学部(学科)	志望者指数		平均偏差値差	
			2020年度 /2019年度	2019年度 /2018年度	2020年度- 2019年度	2019年度- 2018年度
北大	文系	文	111	108	+0.5	+0.9
		法	106	121	-1.1	+0.5
		経済	104	107	+1.7	-1.7
		教育	108	87	+0.2	+1.3
		総合入試文系	92	139	+0.4	-1.9
	理系	総合入試理系	105	101	+0.2	+0.2
		医(医)	101	97	-0.5	-0.5
		医(保健/看護、作業)	104	95	+0.7	+0.5
		医(保健/放射線、検査、理学)	101	103	-0.0	-1.0
		歯	106	125	-1.7	+2.6
		水産	90	131	+2.0	+0.9
		獣医	84	102	-0.7	+0.2
	文系		103	116		
	理系		102	101		
合計		103	105			

